

【H26学校便り4月号】

『どの子にも、心新たな1年を・・・』



季節は確実に移り変わり、つい先頃まで、三寒四温を繰り返し、春めいてきたものの冷たい風に震える日もありました。幸いここへきて一転、すっかり日差しも春めき、校庭の桜もようやくに花開き、刻まさに春爛漫の真ただ中でございます。

東日本大震災から3年が経ち、被災地の方々の事を改めて思いやることの大切さを痛感しております。まだまだ復興からは程遠い現状を見るにつけ、被災地の本当の意味での復興と被災者の皆様の心の痛みの回復を心よりお祈りするばかりでございます。

さて、保護者の皆様、お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。

今年度も学校を挙げて子供たちの心を豊かに思いやり深く育てていきたいと思っております。

輝く若葉と色とりどりの花々の香る4月。

目を輝かせた新一年生を迎え、華やいだなかにも、それぞれ新しい学年、新しい1年間への期待に胸ふくらませた桃五小の子供たち。

今年度も職員一同心をひとつに全力で教育活動に取り組んでいきたいと存じます。

友達との豊かな関わりのなかで、人のよさや自分のよさに気づき、それらを大切にしながら、みんなの中で自分のよさに自信をもって生きていくことのできる力を培うことを目指し、次の3点を教育目標として掲げました。

そして、その中でも自分の考えに自信をもって行動できる子を育てるという視点から「かしこく」を重点項目として設定し、教育活動を進めることとしました。

【平成25年度学校教育目標】

- やさしく （思いやりを持ち仲間と協力し合う子供）
- ◎かしこく （自ら学び、自ら考え、主体的に行動する子供）
- たくましく （心と体の健康に気をつけ、進んできた得る子供）

まずは、すべての子をすべての教職員で組織的に指導する「校内の共育の体制」を整え、指導力の向上を図るなかで、生きる力の基礎・基本の徹底をめざします。

即ち、心の教育、社会性や道徳心の育成等の指導の充実と、自ら学ぶ力を培うための基礎学力の徹底に努め、『やってはならぬ、やらねばならぬ、ならぬことはならぬものです』という「教えるべきことをきちんと教える」ことを基本において子供たちの学びを促していきたいと思っております。

また、「保護者の皆様、地域の皆様との共育体制」を整え、連携・協力して共に育てる体制を確立していきたいと考えております

子どもたちのために忌憚のないご意見をお寄せいただき、職員一同心をひとつに「子どもも保護者や地域の皆様もそして教職員も、みんなが来るのが楽しみな学校」づくりをめざしたいと存じます。

本年度もよろしくお願い申し上げます。